

## 第3回 ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 作品募集スタート

大賞作品はジオ・コスモスの常設展示に！

応募期間: 2016年12月9日(金)～2017年2月15日(水)

にっぽんかがくみらいかん

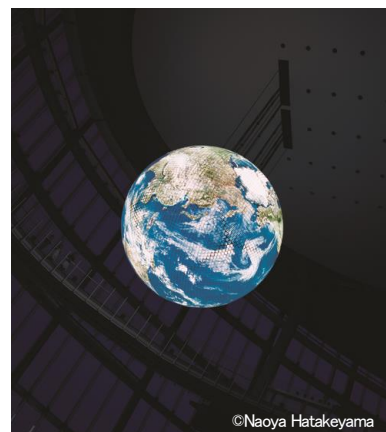
日本科学未来館(略称: 未来館、館長: 毛利衛)は、「第3回 ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト」を開催いたします。これに伴い、2016年12月9日(金)より作品募集を開始します。

本コンテストはジオ・コスモスという球体ディスプレイの新たな可能性や表現方法を切り拓くことを目指して、2014年にスタートしました。過去2回の開催とも、大賞作品はジオ・コスモスの常設コンテンツとして1年間で上映しました。

3回目の開催となる今回は、募集部門を従来の「映像」に加え、「ライブコンテンツ」「アイデア」の2部門を新設、対象となるクリエイティブの領域を拡大し、幅広い層の学生・クリエイターの皆さまへ向けて作品を募集。

第一線で活躍する研究者、クリエイターが一次審査と本審査を行い各賞を決定します。

コンテンツクリエーションを通じた人と人との新たなつながりを生み出すことを視野に、未知の表現に挑む新たなコンテンツとアイデアを広く募ります。是非、貴媒体でご紹介いただけますよう宜しくお願いいたします。



©Naoya Hatakeyama

地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」

### ■ 概要 ■

- 名 称** 第3回 ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト
- テ ー マ** 目に見えないもの／Invisible reality
- 募集部門**
- ①映像部門／ジオ・コスモスで上映する約1分間の映像
  - ②【新設】ライブコンテンツ部門／ジオ・コスモスでリアルタイムの映像生成と上映が可能なプログラム作品
  - ③【新設】アイデア部門／ジオ・コスモスとシンボルゾーンの展示空間を使ったアクティビティやイベントのアイデア
- 応募期間** 2016年12月9日(金)～2017年2月15日(水)18時〆切
- 応募方法** 特設サイト(<http://www.miraikan.jst.go.jp/sp/gc3/>)で応募方法を確認のうえ、応募フォームからご応募ください。
- 賞**
- [映像部門] 大賞 1点(賞金50万円、RICOH THETA SC 他)、入選 4点
  - [ライブコンテンツ部門] 大賞 1点(賞金50万円、RICOH THETA SC 他)、入選 4点
  - [アイデア部門] 大賞 1点(賞金5万円、RICOH THETA SC 他)、入選(4点)
  - [ジオ・コスモス制作チーム特別賞] 1点(賞金、他)
- 審査員**
- 小久保 英一郎(天文学者)、辻川幸一郎(映像作家)
  - 長谷川 踏太(Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)
  - 脇田 玲(アーティスト/慶應義塾大学 SFC 教授)
  - 上田 壮一(一般社団法人 Think the Earth 理事/プロデューサー)、鈴木 おさむ(放送作家)
  - 高橋 桂子(国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター センター長)
  - 土佐 信道(明和電機 代表取締役社長)、毛利 衛(日本科学未来館 館長) ※順不同

主催: 日本科学未来館 協賛: 株式会社ゴーズ、株式会社ジイケイテック

賛助: 株式会社電通 協力: 公益財団法人画像情報教育振興会、株式会社リコー

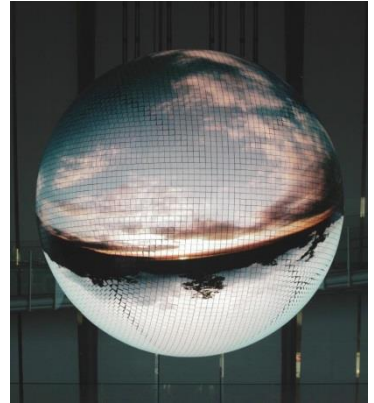
応募者のお問い合わせ先	報道関係者のお問い合わせ先
日本科学未来館 ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト 事務局 E-mail <a href="mailto:gc3@miraikan.jst.go.jp">gc3@miraikan.jst.go.jp</a>	日本科学未来館 事業部 展示企画開発課 広報普及担当 (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL: 03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150

## [ジオ・コスモス コンテンツ コンテストとは]

本コンテストは、多角的な視点から生命と地球の未来を考える日本科学未来館の「つながり」プロジェクトの一環として開催するものです。プロジェクトの基幹ツールである地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」の新たな可能性

や表現方法を切り拓くことを目指し、2014年から始まりました。

「映像部門」と今回新設された「ライブコンテンツ部門」の大賞作品は、ジオ・コスモスの常設コンテンツとして1年間上映されるほか、日本科学未来館の公式WEBサイトでの動画公開や、各種イベントでの上映を予定しています。



昨年の大賞作品  
「Awakening horizon ～地動～」

## [ジオ・コスモスとは]

ジオ・コスモスは、日本科学未来館のシンボル展示であり、世界初の「地球ディスプレイ」です。宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したいという館長毛利衛の思いから生まれました。直径約6m、有機ELを用いた世界に類のない高精細球体ディスプレイは、1000万画素を超える高解像度で宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出します。

ジオ・コスモスは、球面上に上下左右が切れ目なくつながる球形の映像を映すことができる、特殊な映像デバイスです。球形であるがゆえに、映像はあらゆる方向から眺めることができ、平面映像のように正面が存在しません。そこには従来の平面ディスプレイとは異なるとても自由、そして新しい映像表現の可能性があります。このようなデバイスは、常設のものとしては世界中を見渡しても他になく、唯一無二のデバイスと言えます。

## [[「つながり」プロジェクトとは]

科学情報を視覚化し、感性に届く表現によって共有することで、今の地球、今の自分についての「知」を深め、未来のビジョンをともにつくり上げることを目指すプロジェクトです。地球の生態系のなかのさまざまな生命と自分との“つながり”に目を向け、今ある豊かな地球を未来につないでいくために何をすべきか考えていきます。

ジオ・コスモスは、「つながり」プロジェクトの基幹ツールで、地球に関する研究データやアーティストの表現、また世界中の人々からのアイデアをとりこみ、つながりを軸とした新しい地球像を描いていきます。

## [ジオ・コスモスの主要スペック]

- ・発光デバイス: 有機EL(96mm角パネルが10,362枚)
- ・サイズ: 直径約6m(地球の約200万分の1) ・重さ: 約13t
- ・画素数: 1,000万画素以上 ・内部構造: ジオデシック正八面体モデル

## [開催スケジュール]

**応募** → 2016年12月9日(金)～2017年2月15日(水)18:00 締め切り

**応募者向け技術説明会** → ①2017年1月7日(土)15:00 - 19:00、②2017年1月14日(土)15:00 - 19:00  
応募を検討している方を対象とした、ジオ・コスモスで映像を制作するための技術説明会です(参加費無料・申込み制) ※①②とも内容は同じです

**一次審査** → 2017年2月下旬 応募書類、絵コンテ等による選考を行います。

**一次審査結果通知** → 3月初旬 応募者全員へ結果を通知します。

**本審査向け技術説明会** → 3月3日(金)、4日(土)一次審査通過者を対象に行なう、制作に向けた技術説明会です。

**制作・プレゼン準備** → 3月初旬～5月中旬

**本審査** → 映像部門、ライブコンテンツ部門は、ジオ・コスモスに実際に作品を上映して審査を行います。アイデア部門は、プレゼンテーションにより審査を行います。

**発表・授賞式** → 6月3日(土) 日本科学未来館にて行います。

**作品公開** → 6月下旬から1年間を予定しています。

## **[応募者向け技術説明会]**

映像部門、ライブコンテンツ部門に応募を検討している方を対象とした技術説明会を開催します。  
セッション1は座学、セッション2は閉館後の館内で実際にジオ・コスモスに映像を上映しながらデモンストレーションを行います。ジオ・コスモス上映システムの特徴やディスプレイの色味なども知ることができる貴重な機会です。

- ※参加費無料、要事前申し込み。
- ※未来館までの交通費は参加者の個人負担となります。
- ※アイデア部門への応募を検討している方も参加できます。
- ※セッション1、セッション2どちらかだけの参加も可能です。

### **■第1回技術説明会**

開催日時:2017年1月7日(土)15:00~19:00 ※途中30分休憩あり  
開催場所:日本科学未来館(7階会議室2、常設展内オーバルブリッジ、ジオコクピット)  
定員:30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

内容:

#### 〈セッション1〉15:00~17:00

##### **「Unityを使った球体ライブコンテンツの制作方法紹介」**

「Unity」を使って、ジオ・コスモスで使われている正距円筒図法でのコンテンツ開発の手法を紹介します。実際にUnityを使いながらのセッションになりますので、参加者はUnityがインストールされたPCを持参していただくことを推奨しますが、聴講のみの参加も可能です。Unityの基礎的な知識、開発経験のある方が対象となります。

#### 〈セッション2〉17:30~19:00

##### **「ジオ・コスモスのシステム紹介とデモンストレーション」**

ジオ・コスモスの上映システムの概要説明と、ライブコンテンツを投影するための「4Kリアルタイムキャプチャ機能」のデモンストレーションを行います。システム上発生する独特の色味や、遅延なども確認していただけます。

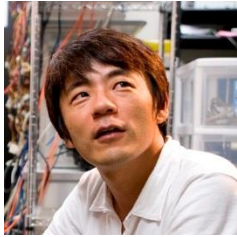
### **■第2回技術説明会**

開催日時:2017年1月14日(土)15:00~19:00 ※途中30分休憩あり  
開催場所:日本科学未来館(7階会議室2、常設展内オーバルブリッジ、ジオコクピット)  
定員:30名(定員になり次第締め切らせていただきます)  
※内容と開催スケジュールは「第1回技術説明会」と同じです。

### **■申込み方法**

開催前日までに下記の必要事項を明記のうえ、コンテスト事務局までEメールでお申込みください。  
(1)氏名、(2)参加希望日(1/7か1/14)、(3)参加するセッション(セッション1のみ・セッション2のみ・両方)

**【申込み先】**ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト事務局 [gc3@miraikan.jst.go.jp](mailto:gc3@miraikan.jst.go.jp)

**[審査員]**
**■映像部門／ライブコンテンツ部門審査員(敬称略、50音順)**

**小久保 英一郎(天文学者)**

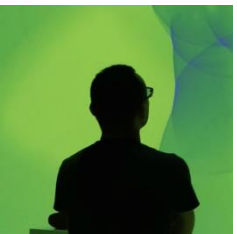
国立天文台理論研究部教授、天文シミュレーションプロジェクト長。東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修了。博士(学術)。専門は惑星系形成論。理論とシミュレーションを駆使して惑星系形成の素過程を明らかにし、多様な惑星系の起源を描き出すことを目指す。コンピュータグラフィックスを用いて宇宙を4次元的に目の当たりにすることを目指す4次元デジタル宇宙プロジェクトも手がける。


**辻川 幸一郎(映像作家)**

CDジャケットや本の装丁などのアートディレクターとして活動をはじめ、友人のミュージシャンのMV制作を頼まれた事から映像制作をはじめ。現在ではCM、MV、ショートフィルム、などの映像作品を中心に、webやグラフィックなどの企画など様々なジャンルで国内外問わず制作中。これからも。


**長谷川 踏太(Wieden+Kennedy Tokyo エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)**

英国ロイヤルカレッジオブアート(Royal College of Art)、インタラクティブデザイン科卒。その後、ソニー株式会社勤務を経て、英国ロンドンに本拠を置くクリエイティブ集団tomatoに所属。インターネット広告やコーポレートアイデンティティなどの分野でインタラクティブな作品を発表。個人としての活動領域も、アート、文筆、教育など多岐にわたる。2011年春から拠点をロンドンから東京に移し、ワイデン+ケネディ トウキョウのエグゼクティブクリエイティブディレクターに就任。


**脇田 玲(アーティスト/慶應義塾大学 SFC 教授)**

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程修了。博士(政策・メディア)。流体力学や熱力学のモデルに基づく独自ソフトウェアを開発し、科学と美術を横断するビジュアライゼーションに注力している。これまでにアルス・エレクトロニカ・センター、WROアートセンター、SIGGRAPHなどで作品を展示。Geo-Prismの海流ビジュアライゼーションのデザインと開発を担当。2014年より慶應義塾大学環境情報学部教授。

**■アイデア部門審査員(敬称略、50音順)**

**上田 壮一(一般社団法人 Think the Earth 理事／プロデューサー)**

1965年生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了。広告代理店勤務を経て、2000年に株式会社スペースポート、2001年にThink the Earth設立。以来、コミュニケーションを通じて環境や社会について考え、行動するきっかけづくりを続けている。主な仕事に地球時計wn-1、携帯アプリ「live earth」、書籍『百年の愚行』『1秒の世界』『グリーンパワーブック 再生可能エネルギー入門』、プラネタリウム映像「いきものがたり」など多数。多摩美術大学客員教授。


**鈴木 おさむ(放送作家)**

1972年生まれ 放送作家 千葉県千倉町出身。19歳で放送作家デビュー。2002年森三中の大島美幸と結婚。その結婚生活を描いたエッセイ「ブスの瞳に恋してる」はベストセラーに。小説「芸人交換日記~イエローハーツの物語~」、「美幸」、「名刺ゲーム」や、映画脚本「ハンサム★スーツ」、「ONE PIECE FILM Z」、「新宿スワン」を執筆。舞台の作・演出、ラジオパーソナリティ等様々な各面で活躍。



高橋 桂子 (国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター センター長)  
東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了、工学博士。花王(株)、ケンブリッジ大学、宇宙開発事業団等を経て、2014 年より国立研究開発法人海洋研究開発機構地球情報基盤センター長。第23期日本学術会議会員、計測自動制御学会理事、可視化情報学会会長、日本流体力学学会、日本応用数理学会、ACM、IFAC 等に所属。大気・海洋現象の超大規模シミュレーション予測研究、超並列・高速計算技術開発に従事。



土佐 信道 (明和電機 代表取締役社長)  
土佐信道プロデュースによる芸術ユニット。青い作業服を着用し作品を「製品」、ライブを「製品デモンストレーション」と呼ぶなど、日本の高度経済成長を支えた中小企業のスタイルで、様々なナンセンスマシーンを開発しライブや展覧会など、国内のみならず広く海外でも発表。音符の形の電子楽器「オタマトーン」などの商品開発も行う。2016 年 1 月には中国上海の美術館 McaM で、初の大規模展覧会を成功させ、同年 6 月には大阪では 20 年ぶりとなる展覧会を開催した。



毛利 衛 (日本科学未来館 館長)  
1948 年生まれ。理学博士。北海道大学助教授を経て、85 年に日本初の宇宙飛行士に選抜される。92 年と 2000 年スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗し、宇宙実験や地球陸地立体地図作成データ取得を行った。2000 年日本科学未来館初代館長に就任。03 年しんかい 6500 に搭乗し深海での科学実験を遂行。同年、南極で皆既日食の生中継を行う。11 年「つながり」プロジェクトを始動。専門は核融合材料科学、真空表面科学、宇宙実験、科学コミュニケーション。